

第4回 高齢者のお薬を考える会

日時：2018年4月5日(木) 19:30~21:00

場所：倉敷中央病院看護研修センター



ポリファーマシー、認知機能・視覚機能の低下に伴う残薬の増加、お薬手帳や実薬管理等々、超高齢化社会に伴い「お薬」が絡む多くの問題を私たちは抱えています。多職種が集まって、情報を共有することで、有害事象の未然回避を協働してできるようにする症例検討会です。

ご興味おありの方、お誘いあわせの上、是非、ご参集ください。

(お車でお越しの際は、駐車券を会場受付にご持参ください。無料の手続きをいたします。)

19:30 ~20:15

症例1) 副作用と食欲不振が原因の低K血症、そして自己調節して内服していた処方のうち

10剤以上の処方減で退院できたケアハウス在住の96歳F

倉敷中央病院 総合内科医師 藤原雅和

20:15~21:30

症例2) ARB 併用カリメートが原因の可能性が考えられた腸管穿孔をきたした93歳F

倉敷中央病院 救急科医師 越後谷良介

共催：岡山県病院薬剤師会 倉敷中央病院薬剤部 岡山県薬剤師会(倉敷支部・玉島支部)

問い合わせ先：倉敷中央病院薬剤部 高柳・阿曾沼 TEL：086-422-0210(病院代表)

E-Mail: phaso@kchnet.or.jp

日本薬剤師会研修センター認定研修：1単位

日本老年薬学会認定研修：1単位(申請中)

日病薬病院薬学認定薬剤師制度【V-2(0.5単位) IV-1(0.5単位)】